

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和7年1月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102518
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ荒田 (2F)
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目39-1 (電話) 099-812-3866
自己評価作成日	令和7年1月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和7年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- H13年10月、ホーム開設。市の中心部に位置しており、国道225線近くバス、電車等の交通機関に利便性が高いのでご家族の方にも訪問しやすい環境にあり、又、閑静な住宅街である為に騒音もなく穏やかな時の中で過ごす事ができている。
- 有料老人ホーム、居宅支援事業所が併設されている為、防災訓練、折にふれ、運営推進会議等で交流する機会もあり、相互に情報交換できている。地域の子供達がにぎやかに集う「古田ヶ浜公園」への散歩などで、気分転換を図りながら、地域での催し等にも参加、交流しつつ、地域に開かれたホームづくりを目指しており、H29年6月に、地域住民、近隣の他福祉施設等との防災ネットワークを立ち上げ「共助」での相互の協力及び連携を強化できるように目指している。地域での一斉消毒、「児童の見守り隊」活動等にも参加できるように努めている。
- 入居者の方々の歩行力維持の為、下肢訓練を朝夕に実施、リハビリ訓練に取り組んでおり、協力医療機関の田上記念病院を始めとして緊急時には近医も多数あり、日頃健康管理から医療連携を重視し、安心してホームで過ごせるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

はるかぜ荒田2F

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼時にスタッフ全員で理念の唱和を行い、毎日、意識づけをし実践できるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の公園の清掃活動や防災連絡ネットワークの一員として地域の一員として積極的に交流できるよう活動している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	すこやか祭りなど地域の催し物など感染対策を行いながら積極的に参加している。入居者様と手作りした作品を出品行った。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し結果を含め、議事録や資料を関係者に送付している。研修で取り組んだ資料や避難訓練時の様子なども持参している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	要介護認定申請時等、市役所へ出向く際には、相談や情報等収集を行い、介護相談員派遣を依頼し協力関係を築けるよう取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を中心に勉強会を行い、全スタッフで廃止に努めている。不適切な言葉はスタッフ間で話し合い、センサーの必要性も毎月確認している。		
7		2025/3/5 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法について勉強会を行い、全職員で共有し、意識作りに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	毎年の内部研修で権利擁護に関する項目を設け、全職員が学ぶ機会作りを確保し実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時は具体的にわかりやすい表現、言葉を用いて説明を行い、理解を得られるよう心掛けている。疑問点の有無にも注意を行い対応できるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者には、日々の生活の中での会話や表情などから汲み取り、ご家族には面会や電話を通して意見や要望を伺いながら、運営に反映できるよう努めている。直接は言い難い意見・要望も頂ける様、意見箱の設置している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日頃から、朝礼や職場会議などで職員の意見や提案を聴く機会を設け、運営に活かせるように努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各スタッフの意識向上が図れるよう、それぞれ役割を担ってもらいながら、時間内での就業を意識し、各自の意欲をそがないよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内外での研修の案内、紹介を行い、各自のスキルアップに繋げる環境を整えるよう努めている。研修後は、職場会議で報告し、全職員の周知を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所から助勢という形で訪問があり交流や意見交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前は面談行い、ご本人の話をよく伺い、本人の希望、不安、困りごとなど把握するように努めている。本人の要望に寄り添い安心して暮らして頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居に伴い、ご家族の話をよく伺い、ご家族の要望、不安、困りごとなど把握し、可能な限り希望に添えるよう、丁寧に説明し信頼関係構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用を開始する際、現時点で、ご本人とご家族が必要としている支援、サービスを提供できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご本人と暮らしを共にする者同士として、一緒にレクリエーションはや洗濯物畳み、会話を楽しむなど、介護される一方の立場に置かないよう努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人と家族との絆を大切にし面会やお電話での交流を支援している。本人主体のケアを共に考え支えていく関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまで親しかった方々のお電話や手紙での交流を支援している。感染症対策にも留意しながら、これまでの関係が途切れない様努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、親しい方や、相性の良い方と席を近くしたり配慮している。全員でレクリエーションに参加できるよう取り組み、孤立せずお互い支え合えるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、関係を閉ざさず、必要な時は、その後の経過をフォローしている。いつでも相談に応じ、支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人から直接的な希望、それが困難な場合は行動、表情、仕草などから汲み取るよう努め、ケアカンファレンスにおいて共有し家族の希望も踏まえケアに活かすよう検討を行う。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活内容や生活環境を入居までの担当ケアマネジャーと情報を共有し、経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりとのコミュニケーションを図り会話をしてく中で、今までの暮らし方や心身状態の経過を職員間で情報共有し、できる事、分かることを把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を汲み取り、職員の気づきを大切に、日々の記録等を基に、習慣や趣味、楽しみ事等にも配慮した介護計画の作成に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの様子や会話、ご本人の言葉等を記入し、職員間で情報を共有し、意見を出し合いながらケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活で、その時々で生まれる、ご本人のニーズに対応し、必要であれば既存のサービスに捉われず、柔軟な支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族をはじめ、町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員にご参加いただき、近況報告や意見交換など行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携体制加算を取得しており、看護師による日常的な健康管理や医療機関の連携調整が整っている。受診時は心身の状況報告を行い、共有することで医療機関との連絡調整が図れる体制づくりを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は日常生活の関わりの中で利用者の心身の状態把握に努め、その中で捉えた情報や気づきを看護師に報告し指示を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は文書にて、病院側に情報提供を行っている。入院中も早期退院に繋げられるよう病院関係者との情報交換を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人やご家族等と話し合い、気持ちを尊重し、事業所でできることを十分説明しながら、方針を共有している。看取りについての研修も取り入れている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時は緊急連絡体制に従い、速やかに実施している。消防隊員同席のもと、心肺蘇生法の講習を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の立ち合いのもと、同敷地内の有料老人ホームと共に年2回、昼間・夜間想定で地震、消防訓練を実施している。勉強会にて全職員に避難方法等の周知を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者には常に敬愛の気持ちで接し、特に排泄や入浴時は人格や羞恥心、習慣等にも配慮した言葉遣いに努め、居室への入室はノックや声掛けの実施など接遇マナーも意識し取り組んでいる。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者が思いや希望の表出や自己決定できるよう一人ひとりに働きかけている。表出や自己決定の難しい方には表情を見ながら支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に し、その日の体調や気持ちを優先し、どのように過ごしたいか思いを感じ取れるよう意識取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時や入浴時に希望を伺い、衣服選びを行っている。また、定期的に理美容の訪問サービスを利用しカット、カラーを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事のメニューを提示し音楽を流しながら食事が楽しくできるよう支援している。一人ひとりの好みを把握し、食材の下ごしらえやテーブル拭き等して頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取状態に応じた食事形態の工夫や、本人の好みの飲み物を提供し、栄養バランスの維持や水分摂取量の確保ができるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前は口腔体操を実施し、食後は毎回、口腔ケアを行い、職員は誤嚥性肺炎リスクを、念頭に置き支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を基本とし、個々の排泄パターンを把握しながら支援している。自尊心に配慮した声掛けや案内行い、さりげないトイレ案内などプライバシー保護にも留意している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	きな粉牛乳やヨーグルト、運動への声掛け支援を行い、自然排便ができるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回を基本に入浴を実施している。個々の希望や要望に応じて曜日や時間帯の変更など柔軟に対応している。浴槽にゆっくりと浸かれるよう入浴時間も配慮している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や生活リズムを大切にしながら、日中は、夜間に安眠できるように、適度な運動や塗り絵などの思考力を使うレク活動を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服変更時は必ず申し送りを行い、受診ノートに詳しく記載し内容を把握できるようにしている。内服文献は個別に綴り、常時確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の生活歴を把握しながら個々の楽しみや好みを知ったうえで、その人に合った役割を持って頂けるよう、声掛け支援や機会作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	車中からの花見や地域の文化祭の見学、近隣の神社へ初詣など感染予防対策に留意しながら、外出支援が継続できるよう努めている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や力に応じてご家族と相談をして決め、本人の欲しい物や必要なものをその時々に応じて買い物時は支払いができるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族や大切な人には本人の希望があれば、いつでも電話をかけて話をされたり、手紙やハガキのやり取りが出来るよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは、明るく十分な換気を行い、加湿器を設置し室温調整や、採光、音にも配慮して適度な室内環境になるよう工夫している。季節の生花や飾り付けを行い、季節を感じて頂けるよう意識し取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各々の利用者が安心して過ごせるようにテーブル席の配置を工夫し、気の合った方同士、話をされたり、テレビ観戦をされたりと思い思いに過ごせるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅からテレビや寝具、タンス、ハンガーラック、家族写真等を持ち込み、家庭同様に居心地良く過ごせることを意識し環境を整えられるよう支援している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、不安のないように居室やトイレには大きく表札を貼り、安全に移動できるよう工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
		2025/3/5	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない